

豊見城中学校 3学年

平和学習月間 『朝の読み聞かせ』 生徒感想

実施日時・場所 : 6月9日(木)、8:15~8:40、3年3組教室にて

6/9(木)の読み聞かせの感想

今日は、戦争の本を読んでくれました。
私が思ったのは、戦争で、自分の目の前で、家族やしんせきがなくなるとは、とてもかたしいと思いました。
もしもつるちゃんみたいに、自分が1人になったら、早くは、生きていけないと思います。つるちゃんも、つるちゃんを、思い出します。

読み聞かせについての感想

今日、読み聞かせを聞いて、戦争は本当におそろしいものだなと思いました。
人を人じゃなくして、平気で人を殺し、家族を殺さないといけない。
しかも、人が死んでいくのを目の前で見ないといけない。家族とはなればなれになる。それが一番つらいことだなと思いました。
だから、これからは一生戦争がなくなっていってほしいと思います。

今日の読み聞かせを聞いて感じたことは、戦争は戦争を体験した人の心に深く残っていて思い出したくもない体験だっただろうなと思いました。
私たちがこうして食事ができたり、友達や家族と楽しい時間を送れるのはとても幸せなことだと思いました。
私は、もう二度と戦争がおこらないのを心から願っています。

今日、朝の読み聞かせのときに平和週間ということに戦争についての本を聞きました。つるちゃんの家族と親せきのお話で、つるちゃんたちはどうにかくわえうとしたけど、内にいっほい人がいるから他に逃げられなくて、いつ爆弾が落ちてくるかわからないのかたしいと思いました。最後お姉ちゃんをなくしてしまいました。つるちゃんも家族がいなくなると、とてもかたしいです。戦争は起さずほかにいいより思いました。